

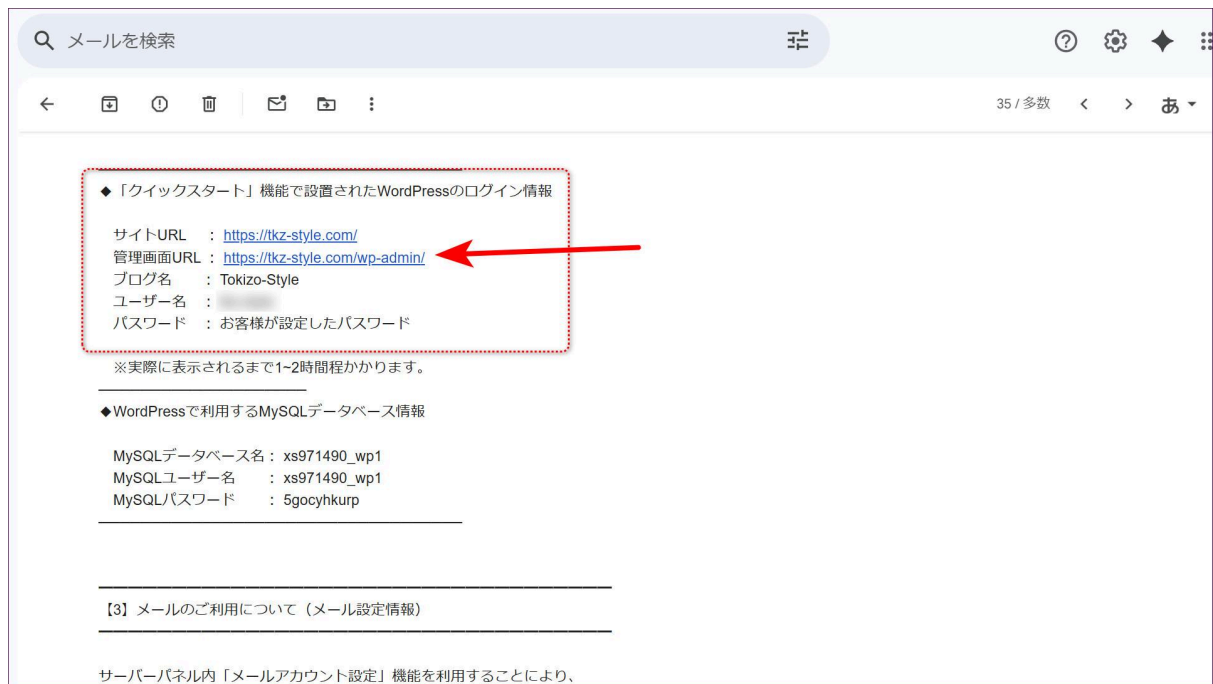
WordPress -ログインから初期設定までの流れ-

今回は、ログインから初期設定までの基本操作を順を追って解説します。ここではエックスサーバーを例に説明します。

ログイン方法



エックスサーバーをお使いの場合、WordPressの管理画面へのログイン情報（管理画面URL・ユーザー名・パスワード）は、インストール完了時に届くメールに記載されています。まずはそのメールを確認しましょう。



メールに記載されている「管理画面URL」を開きます。

(例：<https://ドメイン名/wp-admin/>)



ログイン画面が表示されたら、以下の情報を入力します。

- ・ユーザー名（またはメールアドレス）
- ・パスワード



必要に応じて、「ログイン状態を保存する」にチェックを入れておくと便利です。
(次回以降、同じブラウザを使用する際に入力の手間が省けます。)

入力が終わったら、「ログイン」ボタンをクリックします。



正しくログインできると、「ダッシュボード」が表示されます。



「ダッシュボード」は、WordPressの管理画面のホーム画面にあたり、ここからすべての操作にアクセスできます。

画面左側にはメニューが並んでおり、記事の投稿やデザインの変更、各種設定などを行うことができます。

では、まず最初の設定として、サイトのタイトルと説明文を整えていきましょう。

補足：ログインできない場合

URLが開けない場合

ドメインの反映に時間がかかっている可能性があります（最大24時間程度）。しばらく待ってから再度アクセスしてください。

パスワードを忘れた場合

ログイン画面の「パスワードをお忘れですか？」リンクから再設定が可能です。

サイトのタイトルと説明文の設定

WordPressをインストールしたら、まず最初に行いたいのがサイトのタイトルと説明文の設定です。タイトルはサイトの名前そのものであり、検索結果やブラウザのタブにも表示されます。説明文（キャッチフレーズ）は必須ではありませんが、入れておくとサイトの内容が伝わりやすくなります。



画面左側メニューの「設定」→「一般」をクリックします。



「サイトのタイトル」の入力欄には、サイトのタイトルを入力します。

「キャッチフレーズ」の入力欄には、サイトの説明文を入力します。



なお、「キャッチフレーズ」に入力するサイトの説明文は、必須ではありませんので空欄のままでも問題ありませんが、入れておくとサイトの内容が伝わりやすくなります。



入力が終わったら、ページ下部の「変更を保存」をクリックします。



設定を保存したら、実際のサイトの見え方を確認してみましょう。

画面左上の「家のアイコン」にマウスカーソルをもっていくと、「サイトの表示」というメニューが表示されるので、そちらをクリックします。



サイトのタイトルと説明文は、このように表示されます。

「WordPress アドレス (URL)」と「サイトアドレス (URL)」 の設定

一般設定

サイトのタイトル

キャッチフレーズ
このサイトの簡単な説明。例: 「Just another WordPress site」

サイトアイコン
サイトアイコンは、ブラウザのタブ、ブックマークバー、WordPress
です。

WordPress アドレス (URL)

サイトアドレス (URL)

[サイトのホームページとして WordPress のインストールディレクトリ](#)

次に、「一般設定」の「WordPressアドレス (URL)」と「サイトアドレス (URL)」を確認します。初期設定時は、どちらも「http://」となっているか、どちらかが「http://」となっている場合が多いので、「http」のうしろに小文字の「s」を付け足して、両方とも「https://」に変更します。

これは、サイトの通信を暗号化して安全性を高めるための大切な設定です。SSL（エスエスエル）と呼ばれる仕組みを使うことで、入力された情報が第三者に盗み見られにくくなり、Googleなどの検索エンジンからも「安全なサイト」として評価されやすくなります。

なお、初期状態で「http://」になっているのは、サーバーやドメイン契約の直後はまだSSLが設定されていない場合が多いからです。もし最初から「https://」にしてしまうと、SSLが有効でない環境ではサイトが正しく表示されないことがあります。そのため、WordPressは初期段階ではあえて「http://」で設定されているのです。

エックスサーバーの「WordPressクイックスタート」を利用してWordPressをインストールしている場合は、サーバー側でのSSL設定がすでに完了しています。そのため、この段階でURLを「https://」に変更しておけば、通信の安全性が保たれ、より信頼性の高いサイト運営が可能になります。

WordPress アドレス (URL)	<input type="text" value="https://tkz-style.com"/>
サイトアドレス (URL)	<input type="text" value="https://tkz-style.com"/>

[サイトのホームページとして WordPress のインストールディレクトリ](#)

実際の作業としては、「WordPressアドレス（URL）」と「サイトアドレス（URL）」の入力欄に記載されているURLを、それぞれ「https://」から始まるものに変更します。



入力が終わったら、ページ下部の「変更を保存」をクリックします。



「WordPressアドレス (URL)」と「サイトアドレス (URL)」の修正を行うと、再度、ログイン画面が表示されるので、ログインをし直しましょう。

一般設定

サイトのタイトル

Toki-Style

キャッチフレーズ

日々の気づきや学びを記録しながら、暮らしに役立つ

このサイトの簡単な説明。例: 「Just another WordPress site」

サイトアイコン

サイトアイコンを選択

サイトアイコンは、ブラウザのタブ、ブックマークバー、WordPress
です。

WordPress アドレス (URL)

https://tkz-style.com

サイトアドレス (URL)

https://tkz-style.com

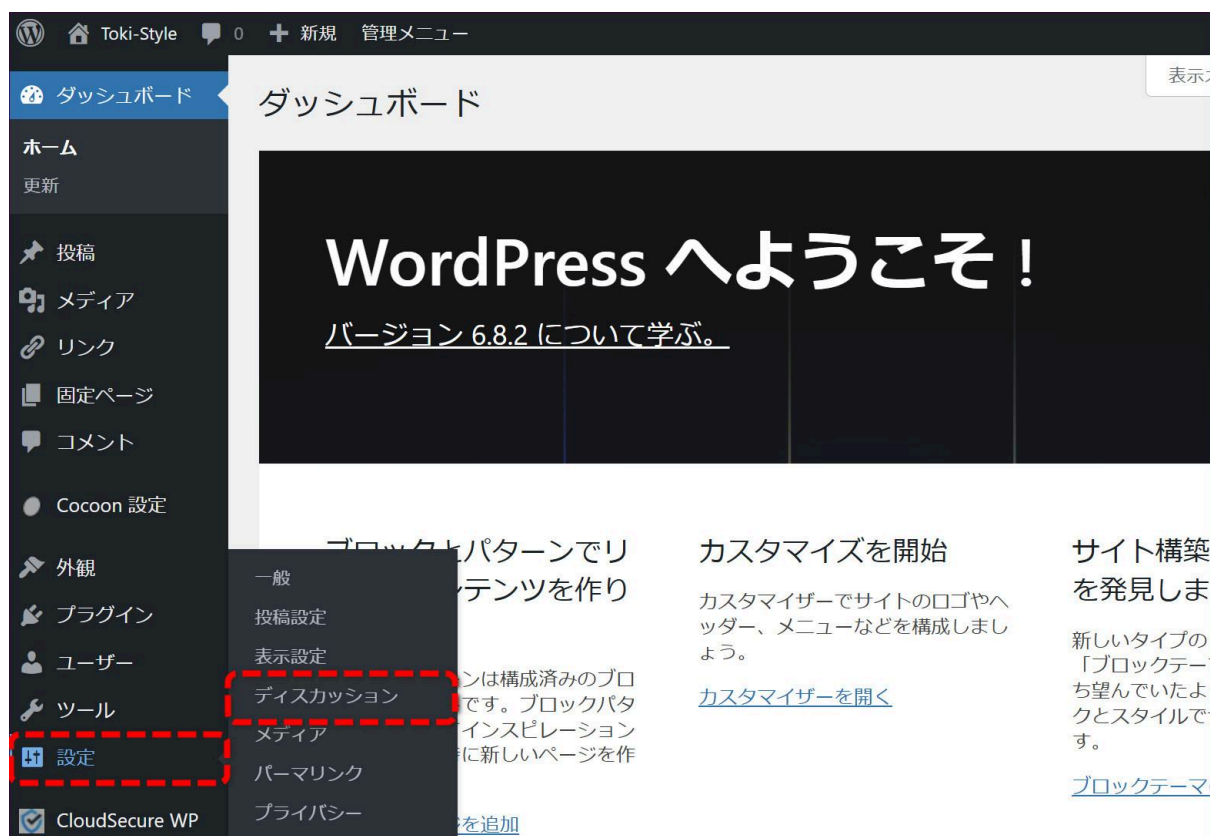
[サイトのホームページとして WordPress のインストールディレクトリ](#)

「WordPressアドレス (URL)」と「サイトアドレス (URL)」が両方とも、「https://」から始まるURLになっていれば設定完了です。

次は、コメントに関する設定を行います。

コメントに関する設定

WordPressでは、記事ごとにコメント欄を設けることができます。読者と交流するきっかけになりますが、その一方で迷惑な書き込み（スパム）が増える原因にもなります。サイトの目的や運営方針に合わせて、最初にコメントを受け付けるかどうかを決めておきましょう。




画面左側メニュー「設定」→「ディスカッション」をクリックします。

ヘルプ ▼

ディスカッション

デフォルトの投稿設定

- ☒ 投稿中からリンクしたすべてのブログへの通知を試みる
- ☒ 新しい投稿に対し他のブログからの通知 (ピンバック・トラックバック) を受け付ける
-  ☒ 新しい投稿へのコメントを許可

個々の投稿は、この設定を上書きできます。ここでの変更は、新しい投稿にのみ適用されます。

他のコメント設定

- ☒ コメントの投稿者の名前とメールアドレスの入力を必須にする
- ☐ ユーザー登録してログインしたユーザーのみコメントをつけられるようにする
- ☐ 古い投稿のコメントを自動的に閉じる

画面上部にある「新しい投稿へのコメントを許可」のチェックをオン／オフで切り替えます。

・オン（チェックあり）

記事ごとにコメント欄が表示され、読者がコメントを書き込めるようになります。

・オフ（チェックなし）

コメント欄は表示されず、読者はコメントを書き込めません。

コメントを受け付けると読者と交流できるメリットがありますが、同時に 迷惑な書き込み（スパムコメント）が増えるリスクもあります。サイトの運営方針に合わせて決めましょう。

なお、投稿画面でも記事ごとに「コメントを許可する／しない」を切り替えることができます。全体設定でオフにしておいて、必要な記事だけオンにする運用も可能です。

設定が終わったら、ページ下部にある「変更を保存」をクリックして、内容を反映させましょう。

パーマリンク設定

WordPressでは、記事のURLの形を「パーマリンク」と呼びます。どの形式を使うかによって、URLの見え方やわかりやすさが変わります。最初に正しく設定しておくことで、サイト運営をスムーズに進められます。



画面左側メニュー「設定」→「パーマリンク」をクリックします。

パーマリンク設定

ヘルプ ▼

WordPress ではパーマリンクやアーカイブにカスタム URL 構造を使うことができます。URL をカスタマイズすることで、リンクの美しさや使いやすさ、そして前方互換性を改善できます。[利用できるタグはたくさんあります](#)が、以下にいくつか試していただける例を用意しました。

共通設定

サイトのパーマリンク構造を選択してください。 `%postname%` タグを含めるとリンクが理解しやすくなり、投稿が検索エンジンで上位に表示されるのに役立つ可能性があります。

パーマリンク構造

☐ 基本

`https://tkz-style.com/?p=123`

☒ 日付と投稿名

`https://tkz-style.com/2025/09/22/sample-post/`

☐ 月と投稿名

`https://tkz-style.com/2025/09/sample-post/`

☐ 数字ベース

`https://tkz-style.com/archives/123`

☐ 投稿名

`https://tkz-style.com/sample-post/`

パーマリンクとは、記事ごとに割り当てられる URL（アドレス）の形のものです。

（例：`https://example.com/〇〇〇/` の「〇〇〇」部分。）

パーマリンク構造

☐ 基本

`https://tkz-style.com/?p=123`

☐ 日付と投稿名

`https://tkz-style.com/2025/09/22/sample-post/`

☐ 月と投稿名

`https://tkz-style.com/2025/09/sample-post/`

☐ 数字ベース

`https://tkz-style.com/archives/123`



☒ 投稿名

`https://tkz-style.com/sample-post/`

特にこだわりがなければ、「投稿名」を選択することをおすすめします。

設定を変更したら、ページ下部の「変更を保存」をクリックして反映させましょう。

「投稿名」をおすすめする理由

- ・ 読者にとってわかりやすい

<https://example.com/recipe-curry/> のように、記事の内容を表す言葉を自分で設定できるので、リンクを見ただけで何の記事か想像できます。

- ・ シンプルで共有しやすい

SNSやメールでURLを貼ったときも、短くて読みやすいので安心感があります。

- ・ 古い情報に見えにくい

日付入りのURLにしてしまうと、何年かたってから記事を見たときに「古い記事かな？」と感じられてしまうことがありますが、投稿名ならその心配がありません。

プラグインの設定

WordPressには、標準の機能を拡張できる「プラグイン」という仕組みがあります。セキュリティ強化や画像の軽量化、バックアップなど、必要な機能を追加してサイトを使いやすくなります。ただし、数が多すぎると不具合や管理の負担につながるため、不要なプラグインを整理し、必要なものだけを導入することが大切です。



画面左側メニュー「プラグイン」→「インストール済みプラグイン」をクリックします。



現在、インストールされているプラグインの一覧が表示されます。

「Akismet Anti-spam: Spam Protection」というプラグインがインストールされていますが、こちらは削除します。

このプラグインはコメントの迷惑投稿を防ぐためのプラグインですが、

- ・コメントを受け付けない設定にしている場合は不要であること
- ・さらにエックスサーバーに標準で入っている CloudSecure WP Security に同じような機能が含まれていること

この2つの理由から、残しておく必要はありません。

プラグイン プラグインを追加 表示オプション ▼

すべて (4) | 使用中 (1) | 停止中 (3) | 自動更新無効 (4) インストールされているプラグインを検索

一括操作 ▼ 適用

<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新
<input type="checkbox"/> Akismet Anti-spam: Spam Protection 有効化 削除	何百万もの利用実績がある Akismet は あなたのブログをスパムから保護する 最良の方法といえるでしょう。あなたが眠りにについている時間でさえ、Akismet は常時サイトを守り続けます。始めるのは簡単。Akismet プラグインを有効化したら設定ページで API キーを設定するだけです。 バージョン 5.5 作者: Automattic - Anti-spam Team 詳細を表示	自動更新を有効化
<input type="checkbox"/> CloudSecure WP Security 無効化	管理画面とログインURLをサイバー攻撃から守る、安心の国産・日本語対応プラグインです。かんたんな設定を行うだけで、不正アクセスや不正ログインからあなたのWordPressを保護し、セキュリティが向上します。また、各機能の有効・無効（ON・OFF）や設定などをお好みにカスタマイズし、いつでも保護状態を管理できます。	自動更新を有効化

「Akismet Anti-spam: Spam Protection」の下に書かれている「削除」をクリックします。

tkz-style.com の内容
本当に Akismet Anti-spam: Spam Protection を削除してもよいですか？

OK キャンセル

プラグイン
すべて (4) | 使用中 (1)

一括操作 ▼ 適用

<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新
<input type="checkbox"/> Akismet Anti-spam: Spam Protection 有効化 削除	何百万もの利用実績がある Akismet は あなたのブログをスパムから保護する 最良の方法といえるでしょう。あなたが眠りにについている時間でさえ、Akismet は常時サイトを守り続けます。始めるのは簡単。Akismet プラグインを有効化したら設定ページで API キーを設定するだけです。	自動更新を有効化

確認画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

プラグイン

プラグインを追加

表示オプションヘルプ

すべて (3) | 使用中 (1) | 停止中 (2) | 自動更新無効 (3)

インストールされているプラグインを検索

一括操作適用

3個の項目

<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新
Akismet Anti-spam: Spam Protection を削除しました。		
<input type="checkbox"/> CloudSecure WP Security 無効化	管理画面とログインURLをサイバー攻撃から守る、安心の国産・日本語対応プラグインです。かんたんな設定を行うだけで、不正アクセスや不正ログインからあなたのWordPressを保護し、セキュリティが向上します。また、各機能の有効・無効（ON・OFF）や設定などをお好みにカスタマイズし、いつでも保護状態を管理できます。 バージョン 1.3.18 作者: CloudSecure,Inc. 詳細を表示	自動更新を有効化
<input type="checkbox"/> Hello Dolly 有効化 削除	これはただのプラグインではありません。Louis Armstrong によって歌われた最も有名な二つの単語、Hello, Dolly に要約された同一世代のすべての人々の希望と情熱を象徴するものです。このプラグインを有効にすると、すべての管理画面の右上に Hello, Dolly からの歌詞がランダムに表示されます。	自動更新を有効化

「Akismet Anti-spam: Spam Protection」が削除されました。

<input type="checkbox"/> CloudSecure WP Security 無効化	管理画面とログインURLをサイバー攻撃から守る、安心の国産・日本語対応プラグインです。かんたんな設定を行うだけで、不正アクセスや不正ログインからあなたのWordPressを保護し、セキュリティが向上します。また、各機能の有効・無効（ON・OFF）や設定などをお好みにカスタマイズし、いつでも保護状態を管理できます。 バージョン 1.3.18 作者: CloudSecure,Inc. 詳細を表示	自動更新を有効化
<input type="checkbox"/> Hello Dolly 有効化 削除	これはただのプラグインではありません。Louis Armstrong によって歌われた最も有名な二つの単語、Hello, Dolly に要約された同一世代のすべての人々の希望と情熱を象徴するものです。このプラグインを有効にすると、すべての管理画面の右上に Hello, Dolly からの歌詞がランダムに表示されます。 バージョン 1.7.2 作者: マット・マレンウェッグ 詳細を表示	自動更新を有効化
<input type="checkbox"/> TypeSquare Webfonts for エックスサーバー 有効化 削除	エックスサーバー株式会社が提供する各レンタルサーバーサービスでWebフォントを利用できるプラグインです。 バージョン 2.0.8 作者: XSERVER Inc. 詳細を表示	自動更新を有効化

次に、「Hello Dolly」というプラグインを削除します。これは管理画面に歌詞をランダムに表示するだけのもので、サイト運営には一切関係がありません。

<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新
Akismet Anti-spam: Spam Protection を削除しました。		
<input type="checkbox"/> CloudSecure WP Security 無効化	管理画面とログインURLをサイバー攻撃から守る、安心の国産・日本語対応プラグインです。かんたんな設定を行うだけで、不正アクセスや不正ログインからあなたのWordPressを保護し、セキュリティが向上します。また、各機能の有効・無効（ON・OFF）や設定などをお好みにカスタマイズし、いつでも保護状態を管理できます。 バージョン 1.3.18 作者: CloudSecure,Inc. 詳細を表示	自動更新を有効化
Hello Dolly を削除しました。		
<input type="checkbox"/> TypeSquare Webfonts for エックスサーバー 有効化 削除	エックスサーバー株式会社が提供する各レンタルサーバーサービスでWebフォントを利用できるプラグインです。 バージョン 2.0.8 作者: XSERVER Inc. 詳細を表示	自動更新を有効化
<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新

一括操作 ▼ 適用 2個の項目

「TypeSquare Webfonts for エックスサーバー」というプラグインも入っていますが、こちらも削除して問題ありません。モリサワのWebフォントを利用することができるプラグインなのですが、特にフォントにこだわりがなければ不要です。

Toki-Style

新規 管理メニュー

こんにちは、さん

メディア

リンク

固定ページ

コメント

Cocoon 設定

外観

プラグイン

インストール済みプラグイン

プラグインを追加

プラグインファイルエディター

ユーザー

ツール

設定

CloudSecure WP Security

プラグイン

プラグインを追加

すべて (1) | 使用中 (1) | 自動更新無効 (1)

インストールされているプラグインを検索

一括操作 ▼

適用

1個の項目

<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新
Akismet Anti-spam: Spam Protection を削除しました。		
<input type="checkbox"/> CloudSecure WP Security 無効化	管理画面とログインURLをサイバー攻撃から守る、安心の国産・日本語対応プラグインです。かんたんな設定を行うだけで、不正アクセスや不正ログインからあなたのWordPressを保護し、セキュリティが向上します。また、各機能の有効・無効（ON・OFF）や設定などをお好みにカスタマイズし、いつでも保護状態を管理できます。 バージョン 1.3.18 作者: CloudSecure,Inc. 詳細を表示	自動更新を有効化
Hello Dolly を削除しました。		
TypeSquare Webfonts for エックスサーバー を削除しました。		
<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新

一括操作 ▼

適用

1個の項目

続いて、最低限必要なプラグインを追加します。画面左上の「プラグインを追加」をクリックします。

プラグインを追加 [プラグインのアップロード](#) ヘルプ ▼

注目 人気 おすすめ お気に入り **プラグインの検索** キーワード ▼

プラグインは WordPress の機能を拡張するものです。[WordPress プラグインディレクトリ](#) からプラグインをインストールできます。またはこのページの最上部にあるボタンをクリックして zip 形式でプラグインをアップロードしてください。



Akismet Anti-spam: Spam Protection

[今すぐインストール](#) [詳細情報](#)

スパムのコメントやスパムをコンタクトフォームでブロックするための最善のスパム対策保護。WordPress と WooCommerce のための最も信頼されたスパム対策ソリューション。

作者: [Automattic](#)



Jetpack – WP セキュリティ、バックアップ、高速化、成長

[今すぐインストール](#) [詳細情報](#)

バックアップ、WAF、マルウェアスキャンなどの強力なフックアップツールで、WP のセキュリティを向上させます。統計情報、CDN、ソーシャル共有など無料ツールが含まれています。

作者: [Automattic](#)

「プラグインの検索」と書かれた入力欄に「WP Multibyte Patch」と入力します。

プラグインを追加 [プラグインのアップロード](#) ヘルプ ▼

検索結果 注目 人気 おすすめ お気に入り プラグインの検索 キーワード ▼

7個の項目



WP Multibyte Patch

[今すぐインストール](#) [詳細情報](#)

WordPress 日本語版パッケージのためのマルチバイト機能の拡張。

作者: [Seisuke Kuraishi](#)

★★★★★ (23) 最終更新: 5か月前
有効インストール数: 100万+ [使用中的 WP バージョンと互換性あり](#)



Better Click To Tweet

[今すぐインストール](#) [詳細情報](#)

Insert styled call-out boxes into your posts, simply and securely. Encourage readers to share your content on X in one simple action.

作者: [Ben Meredith](#)

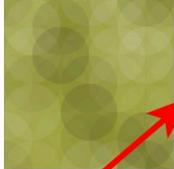
★★★★★ (48) 最終更新: 5か月前
有効インストール数: 8,000+ [使用中的 WP バージョンと互換性あり](#)

「WP Multibyte Patch」が表示されます。WordPressはもともと英語で作られているため、日本語環境では文字化けなどの不具合が起こる場合があります。このプラグインはそうした日本語特有の問題を防ぐためのものです。日本語でWordPressを使うなら必須なので、まず最初に入れておきましょう。「今すぐインストール」をクリックします。

プラグインを追加 [プラグインのアップロード](#) ヘルプ ▼

検索結果 注目 人気 おすすめ お気に入り プラグインの検索 WP Multibyte Patch キーワード ▼

7個の項目




WP Multibyte Patch

[有効化](#) [詳細情報](#)

WordPress 日本語版パッケージのためのマルチバイト機能の拡張。

作者: [Seisuke Kuraishi](#)

★★★★★ (23) 最終更新: 5か月前
有効インストール数: 100万以上 [✓](#) 使用中の WP バージョンと互換性あり



Better Click To Tweet

[今すぐインストール](#) [詳細情報](#)

Insert styled call-out boxes into your posts, simply and securely. Encourage readers to share your content on X in one simple action.

作者: [Ben Meredith](#)

★★★★★ (48) 最終更新: 5か月前
有効インストール数: 8,000+ [✓](#) 使用中の WP バージョンと互換性あり

インストールが完了すると、「有効化」というボタンが表示されるので、クリックします。

プラグイン [プラグインを追加](#) 表示オプション ▼ ヘルプ ▼

プラグインを有効化しました。

すべて (2) | 使用中 (2) | 自動更新無効 (2) インストールされているプラグインを検索

一括操作 ▼ [適用](#) 2個の項目

<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新
<input type="checkbox"/> CloudSecure WP Security 無効化	管理画面とログインURLをサイバー攻撃から守る、安心の国産・日本語対応プラグインです。かんたんな設定を行うだけで、不正アクセスや不正ログインからあなたのWordPressを保護し、セキュリティが向上します。また、各機能の有効・無効 (ON・OFF) や設定などをお好みにカスタマイズし、いつでも保護状態を管理できます。 バージョン 1.3.18 作者: CloudSecure,Inc. 詳細を表示	自動更新を有効化
<input type="checkbox"/> WP Multibyte Patch 無効化	WP Multibyte Patch は、本家版、日本語版 WordPress のマルチバイト文字の取り扱いに関する不具合の累積的修正と強化を行うプラグインです。 » 詳しい説明を読む バージョン 2.9.2 作者: 倉石 政典 詳細を表示	自動更新を有効化
<input type="checkbox"/> プラグイン	説明	自動更新

「WP Multibyte Patch」が有効化されました。

引き続き、必須プラグインの追加を行うので、「プラグインの追加」をクリックします。



「プラグインの検索」と書かれた入力欄に「EWWW Image Optimizer」と入力します。

「EWWW Image Optimizer」は、画像をアップロードしたときに自動で圧縮・最適化し、ページの表示速度を改善してくれるプラグインです。

スマホやデジカメで撮影した写真を容量の大きいままアップロードすると、ページの表示に時間がかかってしまい、その結果、読者がページを閉じて離れてしまう原因になります。

こうしたトラブルを避けるためにも、最初からこのプラグインを入れておくことをおすすめします。

「EWWW Image Optimizer」の追加が完了したら、次は「WPvivid Backup & Migration」というプラグインを追加します。

プラグインを追加 プラグインのアップロード ヘルプ ▾

検索結果 注目 人気 おすすめ お気に入り プラグインの検索 WPvivid Backup & Migration キーワード ▾

2個の項目



Migration, Backup, Staging – WPvivid Backup & Migration

今すぐインストール 詳細情報

Migrate, staging, backup WordPress, all in one.

作者: wpvividplugins

★★★★★ (1,314) 最終更新: 1週間前
有効インストール数: 800,000+ ✓ 使用中の WP バージョンと互換性あり



Backup Migration

今すぐインストール 詳細情報

Backup Migration

作者: Inisev

★★★★★ (1,248) 最終更新: 2か月前
有効インストール数: 90,000+ ✓ 使用中の WP バージョンと互換性あり

「WPvivid Backup & Migration」は、WordPressのデータベースやファイルをバックアップするためのプラグインです。エックスサーバーにもバックアップ機能はありますが、保存されるのは過去14日分のみです。

そのため、より安心してサイトを運営するには、WPvividを使って自分で好きなタイミングでバックアップを取れる環境を整えておくことをおすすめします。

バックアップファイルはパソコンに保存できるほか、Google Drive や Dropbox などのクラウドストレージにも保存可能です。

サイトに不具合が起きたり、誤って記事や画像を消してしまった場合でも、事前にWPvividでバックアップを取っていれば、すぐに元の状態に戻すことができます。



「WPvivid Backup & Migration」をインストールして有効化すると、このような設定画面が表示されます。

初期設定のままだでも、すぐに利用できますので、まずはサイト全体をまとめてバックアップしておきましょう。



画面の左側で「データベース＋ファイル（WordPressファイル）」が選択されていることを確認します。初期設定のままで大丈夫です。

WPvivid Backup Plugin

バックアップ & 復元 スケジュール 自動移行 リモートストレージ 設定 デバッグ ログ キー プレミアム

MainWP ×

手動バックアップ | [Try our AVIF and WebP conversion tool, it's free](#)

ローカルストレージディレクトリ: /home/xs971490/tkz-style.com/public_html/wp-content/wpvividbackups [ディレクトリの変更](#)

☒ データベース + ファイル (WordPress ファイル)
☐ WordPress ファイル (データベース以外)
☐ データベースのみ
☐ カスタム [プロ版の機能を確認する](#)

☒ バックアップをローカルに保存する
☐ バックアップをリモートストレージに送信する:

FTP SFTP        

右側の保存先は「バックアップをローカルに保存する」にチェックが入っています。そのままサーバー内に保存されますので、ここも変更不要です。

手動バックアップ | [Try our AVIF and WebP conversion tool, it's free](#)

ローカルストレージディレクトリ: /home/xs971490/tkz-style.com/public_html/wp-content/wpvividbackups [ディレクトリの変更](#)

☒ データベース + ファイル (WordPress ファイル)
☐ WordPress ファイル (データベース以外)
☐ データベースのみ
☐ カスタム [プロ版の機能を確認する](#)

☒ バックアップをローカルに保存する
☐ バックアップをリモートストレージに送信する:

FTP SFTP        

バックアップ

☐ このバックアップは手動でのみ削除可

ヒント: 設定は手動バックアップの場合のみに適用され、スケジュール設定には影響しません。

中央の「バックアップ」ボタンをクリックすると、処理が始まります。

WPvivid Backup Plugin

バックアップ & 復元

スケジュール

自動移行

リモートストレージ

設定

デバッグ

ログ

キー

プレミアム

MainWP ×

合計サイズ: N/A アップロード済み: N/A 速度: N/A ネットワーク接続: N/A

Start backing up backup_plugin. 進行状況: 28%, 実行時間: 6 second(s)

Cancel

手動バックアップ | [Try our AVIF and WebP conversion tool, it's free](#)

ローカルストレージディレクトリ: /home/xs971490/tkz-style.com/public_html/wp-content/wpvividbackups [ディレクトリの変更](#)

☒ データベース + ファイル (WordPress ファイル)

☐ WordPress ファイル (データベース以外)

☐ データベースのみ

☐ カスタム [プロ版の機能を確認する](#)

☒ バックアップをローカルに保存する

☐ バックアップをリモートストレージに送信する:

FTP

SFTP

バックアップ

バックアップの進捗状況は、画面上部に表示されます。

まれにバックアップが0%から進まない場合があります。その際はページを再読み込みして再実行してください。解決しない場合は『Wordpressファイルのみ（データベース以外）』『データベースのみ』に分けてバックアップを取ると成功することがあります。

※バックアップ処理にかかる時間

小規模サイト（開設直後、記事数10件未満）

数十秒～1分程度で完了することが多いです。

中規模サイト（記事数が数百、画像も多い）

数分～10分程度かかる場合があります。

大規模サイト（長年運営、画像や動画が大量）

数十分かかることもあります。

バックアップ

アップロード

バックアップのダウンロードについて

->バックアップがリモートストレージに保存されている場合、プラグインはまずウェブサーバーにバックアップを取得します。バックアップファイルのサイズによって少し時間がかかるかもしれません。しばらくお待ちください。その後、PCにそれらをダウンロードできます。

->バックアップがウェブサーバーに保存されている場合、このプラグインは関連するすべてのファイルを直ちにリストアップします。

バックアップ (スケジュールバックアップ、手動バックアップ、アップロードバックアップ、受信バックアップ) からサイトを復元する方法

ヒント: ディレクトリ内のすべてのアップロードまたは受信したバックアップをスキャンするには、以下のボタンをクリックしてください
/home/xs971490/tkz-style.com/public_html/wp-content/wpvividbackups

アップロードされたバックアップ、または受信したバックアップのスキャン

バックアップ	ストレージ	ダウンロード	復元	削除
<input type="checkbox"/> Sep-23-2025 16:06 種類:Manual ログ	 FTP  SFTP 	 ダウンロード (64.05 MB)	 復元	
<input type="checkbox"/> 選択したバックアップを削除				

バックアップ処理が完了すると、ページ下部に新しいバックアップが一覧表示されます。

バックアップが作成されたら、一覧にある「ダウンロード」ボタンをクリックして、自分のパソコンにも保存しておきましょう。サーバーに障害が起きたときでも復元できるよう、定期的にバックアップデータをパソコンに保存しておくことをおすすめします。

あわせて、バックアップを取るタイミング も意識しておくで安心です。

- ・WordPress本体をアップデート（バージョンアップ）する前
- ・新しいプラグインをインストールする前
- ・デザインの変更などサイト全体の修正を行う前

こうした節目でバックアップを残しておけば、不具合が起きてもすぐに元の状態に戻せます。

WPvividでバックアップから復元する方法

実際にトラブルが起きてしまったときには、保存してあるバックアップから復元することで、直前の正常な状態に戻すことができます。

今この段階で実際にやってもらう必要はありませんが、手順だけ紹介しておきます。



画面左側メニュー「WPvivid Backup」→「バックアップと復元」をクリックします。

バックアップ

アップロード

バックアップのダウンロードについて

->バックアップがリモートストレージに保存されている場合、プラグインはまずウェブサーバーにバックアップを取得します。バックアップファイルのサイズによって少し時間がかかるかもしれません。しばらくお待ちください。その後、PCにそれらをダウンロードできます。

->バックアップがウェブサーバーに保存されている場合、このプラグインは関連するすべてのファイルを直ちにリストアップします。

バックアップ (スケジュールバックアップ、手動バックアップ、アップロードバックアップ、受信バックアップ) からサイトを復元する方法

ヒント: ディレクトリ内のすべてのアップロードまたは受信したバックアップをスキャンするには、以下のボタンをクリックしてください /home/xs971490/tkz-style.com/public_html/wp-content/wpvividbackups

アップロードされたバックアップ、または受信したバックアップのスキャン

バックアップ	ストレージ	ダウンロード	復元	削除
<input type="checkbox"/> Sep-23-2025 16:06 🔒 タイプ: Manual 📄 ログ	FTP SFTP Local	📄 ダウンロード (64.05 MB)	復元	
<input type="checkbox"/> 選択したバックアップを削除				

一覧にあるバックアップの中から、復元したい日付のものを選び、「復元」をクリックすると処理が始まります。確認画面が出たら「OK」を選びましょう。

復元が完了するとログイン画面に戻る場合があります。再度ログインして問題がなければ復元成功です。

バックアップ

アップロード

The backups will be uploaded to /home/xs971490/tkz-style.com/public_html/wp-content/wpvividbackups directory.

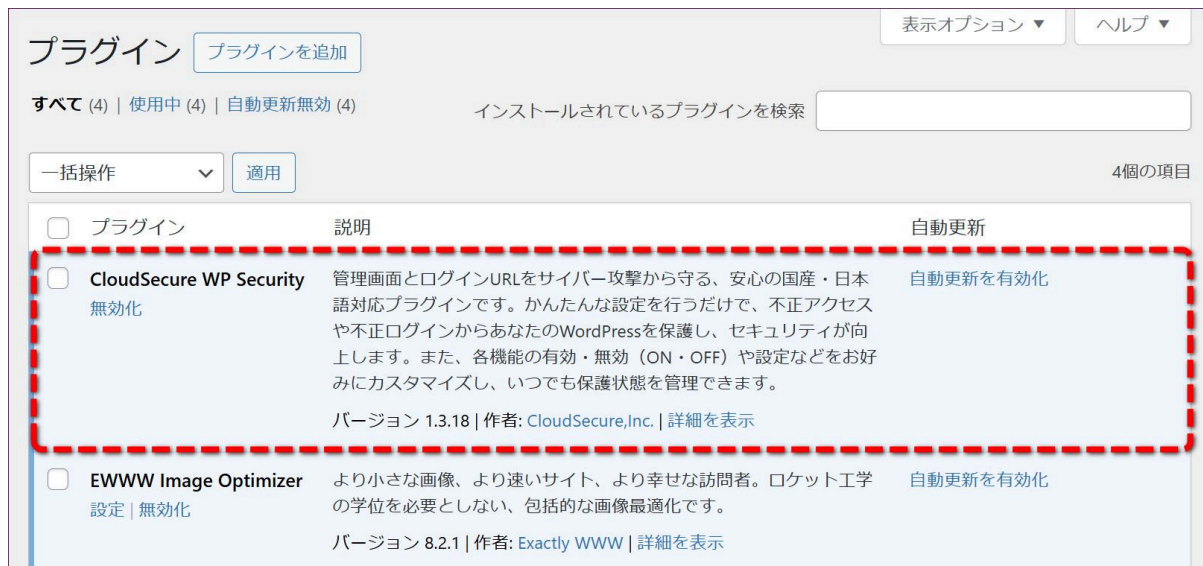
注意: アップロードするファイルは、WPvivid backup プラグインで作成されたバックアップである必要があります。バックアップが分割される場合、すべてのファイルをディレクトリにアップロードしたことを確認してください

ここにファイルをドロップ

ファイルを選択

パソコンに保存してあるバックアップファイルを使う場合は、画面上部の「アップロード」機能から読み込んで復元できます。

CloudSecure WP Securityについて



プラグイン プラグインを追加

すべて (4) | 使用中 (4) | 自動更新無効 (4) インストールされているプラグインを検索

一括操作 適用 4個の項目

プラグイン	説明	自動更新
<input type="checkbox"/> CloudSecure WP Security 無効化	管理画面とログインURLをサイバー攻撃から守る、安心の国産・日本語対応プラグインです。かんたんな設定を行うだけで、不正アクセスや不正ログインからあなたのWordPressを保護し、セキュリティが向上します。また、各機能の有効・無効（ON・OFF）や設定などをお好みにカスタマイズし、いつでも保護状態を管理できます。 バージョン 1.3.18 作者: CloudSecure,Inc. 詳細を表示	自動更新を有効化
<input type="checkbox"/> EWWW Image Optimizer 設定 無効化	より小さな画像、より速いサイト、より幸せな訪問者。ロケット工学の学位を必要としない、包括的な画像最適化です。 バージョン 8.2.1 作者: Exactly WWW 詳細を表示	自動更新を有効化

エックスサーバーの簡単インストールで WordPress を作成すると、「CloudSecure WP Security」というセキュリティプラグインが最初から入っています。これは、不正アクセスやコメントスパムなど、ブログを狙った外部からの攻撃を防ぐためのものです。

CloudSecure WP Security には多くのセキュリティ機能がありますが、初期設定のままだでも十分に安全です。**すべての機能を一度にONにすると、環境によっては自分自身が管理画面に入れなくなってしまうこともあります。**

そのため、初心者の方はまずはデフォルトの状態で利用し、必要に応じて少しずつ機能を追加していくのがおすすめです。



画面左側メニューにある「CloudSecure WP Security」をクリックすると、設定を行うことができます。

CloudSecure WP Security にはたくさんの機能がありますが、全部を一度に設定する必要はありません。ここでは、初心者の方にとって特に関わりが深い機能を順番に説明していきます。

まず知っておきたい機能

・ログイン無効化（ログイン試行回数の制限）

同じIPから何度もログインに失敗すると、そのアクセスを自動的にブロックします。ブルートフォース攻撃（パスワードを総当たりで突破しようとする攻撃）を防ぐ基本機能で、最初から有効になっています。

・ログイン通知

誰かがログインしたときにメールで知らせてくれる機能です。自分以外の不審なログインに早く気づけます。最初から有効になっています。

セキュリティ

有効	<u>ログイン無効化</u>	ログイン失敗回数が上限に達した場合、ログインを無効化します。
	<u>ログインURL変更</u>	ログインURLを変更します。
有効	<u>ログインエラーメッセージ統一</u>	エラーごとの詳細なメッセージではなく、単一のメッセージを返します。
	<u>2段階認証</u>	ユーザー名とパスワードの入力に加え、別のコードで追加認証を行います。
	<u>画像認証追加</u>	ログインフォーム、コメントフォームなどに画像認証を追加します。
	<u>管理画面アクセス制限</u>	管理画面ディレクトリ以下へのアクセスを制限します。
有効	<u>設定ファイルアクセス防止</u>	設定ファイルへのアクセスを遮断し、情報漏えいを防止します。
有効	<u>ユーザー名漏えい防止</u>	「?author=数字」でのアクセスによるユーザー名漏えいを防止します。
有効	<u>XML-RPC無効化</u>	XML-RPC機能を無効化します。
	<u>REST API 無効化</u>	REST APIを無効化します。
	<u>シンプルWAF</u>	WordPressへの基本的な攻撃を検知した場合、攻撃を遮断します。

コメント機能を使う場合におすすめの機能

・画像認証追加

コメント投稿のときに「画像を選んでください」といった認証を加えることで、自動で送られるスパムコメントを防げます。コメントを開放する予定がある人は有効にしておくで安心です。

さらにセキュリティを強めたい場合

・ログインURL変更

通常は <https://〇〇〇/wp-login.php> ですが、これを別のURLに変更できます。攻撃者にログイン画面を見つけられにくくなります。

・2段階認証

パスワードに加えて、スマホアプリ（Google Authenticatorなど）に表示されるコードを入力する方式です。セキュリティは大幅に強化されますが、毎回スマホを確認することが前提になります。

セキュリティ

有効	<u>ログイン無効化</u>	ログイン失敗回数が上限に達した場合、ログインを無効化します。
	<u>ログインURL変更</u>	ログインURLを変更します。
有効	<u>ログインエラーメッセージ統一</u>	エラーごとの詳細なメッセージではなく、単一のメッセージを返します。
	<u>2段階認証</u>	ユーザー名とパスワードの入力に加え、別のコードで追加認証を行います。
	<u>画像認証追加</u>	ログインフォーム、コメントフォームなどに画像認証を追加します。
	<u>管理画面アクセス制限</u>	管理画面ディレクトリ以下へのアクセスを制限します。
有効	<u>設定ファイルアクセス防止</u>	設定ファイルへのアクセスを遮断し、情報漏えいを防止します。
有効	<u>ユーザー名漏えい防止</u>	「?author=数字」でのアクセスによるユーザー名漏えいを防止します。
有効	<u>XML-RPC無効化</u>	XML-RPC機能を無効化します。
	<u>REST API 無効化</u>	REST APIを無効化します。
	<u>シンプルWAF</u>	WordPressへの基本的な攻撃を検知した場合、攻撃を遮断します。

注意して使う機能

・管理画面アクセス制限

自分のIP以外から管理画面にアクセスできなくする機能。外出先やスマホ回線からログインできなくなることもあるため、初心者はOFFのままだが安心。

・REST API無効化・シンプルWAF

WordPressに外部から接続する仕組みを止めたり、WAF（Web Application Firewall）で不審な通信をブロックしたりする機能です。高度な攻撃対策には有効ですが、外部サービスとの連携に影響する場合があります。初心者の段階では触らず、必要になったときに検討すれば十分です。

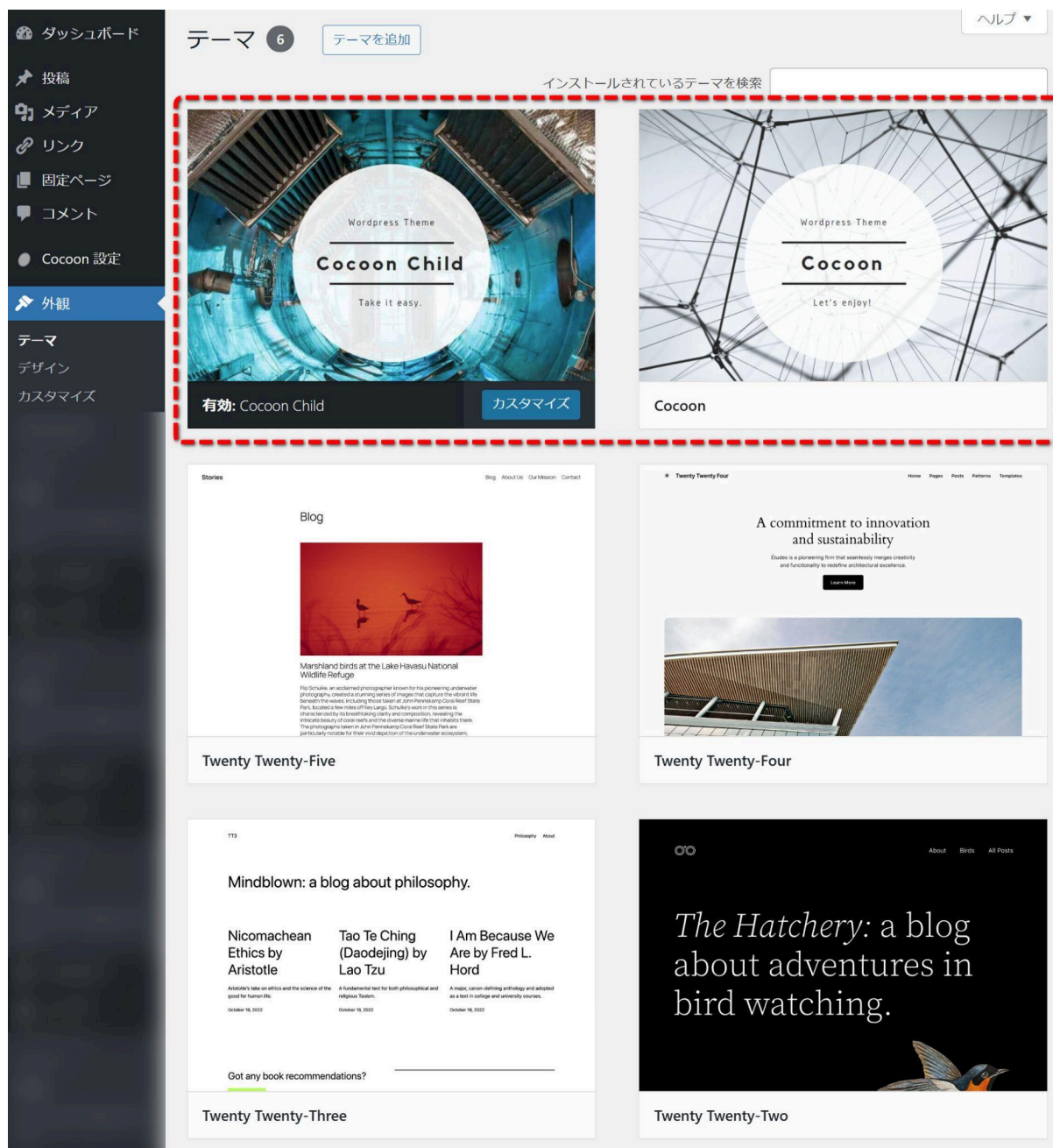
「外観」「テーマ」について

テーマとは

WordPress では「テーマ」というデザインテンプレートを使って、ブログ全体の見た目やレイアウトを決めます。色合い、フォント、記事の配置などがテーマによって大きく変わります。記事の内容はそのままでも、テーマを変えるだけでブログの印象が変わります。



画面左側メニュー「外観」→「テーマ」をクリックすると、現在有効化されているテーマと、インストール済みのテーマ一覧が表示されます。



エックスサーバーの簡単インストールを使った場合は、無料テーマ「Cocoon」が最初からインストールされた状態で使うことができます。Cocoonは多機能で初心者にも扱いやすいため、ここではCocoonを利用する前提で説明を進めます。

※Cocoonがインストールされていない場合

Cocoonがインストールされていなくて、Cocoonを使ってみたい方は、以下のページを参考にしてください。

<https://wp-cocoon.com/theme-install/>

不要なテーマを削除する

WordPress には複数のテーマを同時にインストールしておくことができますが、実際に使うテーマ以外は削除しておくのがおすすめです。

削除した方がいい理由

・セキュリティのため

有効化していないテーマでも、サーバーにファイルが残っているとセキュリティ上の弱点になってしまう可能性があります。攻撃の対象を減らすためにも、不要なテーマは削除しておきましょう。

・バックアップの効率化

不要なテーマもバックアップの対象になるため、削除することでバックアップ容量を減らせます。

削除のポイント

- ・Cocoonを使う前提 なので、Cocoonは残しておきます。

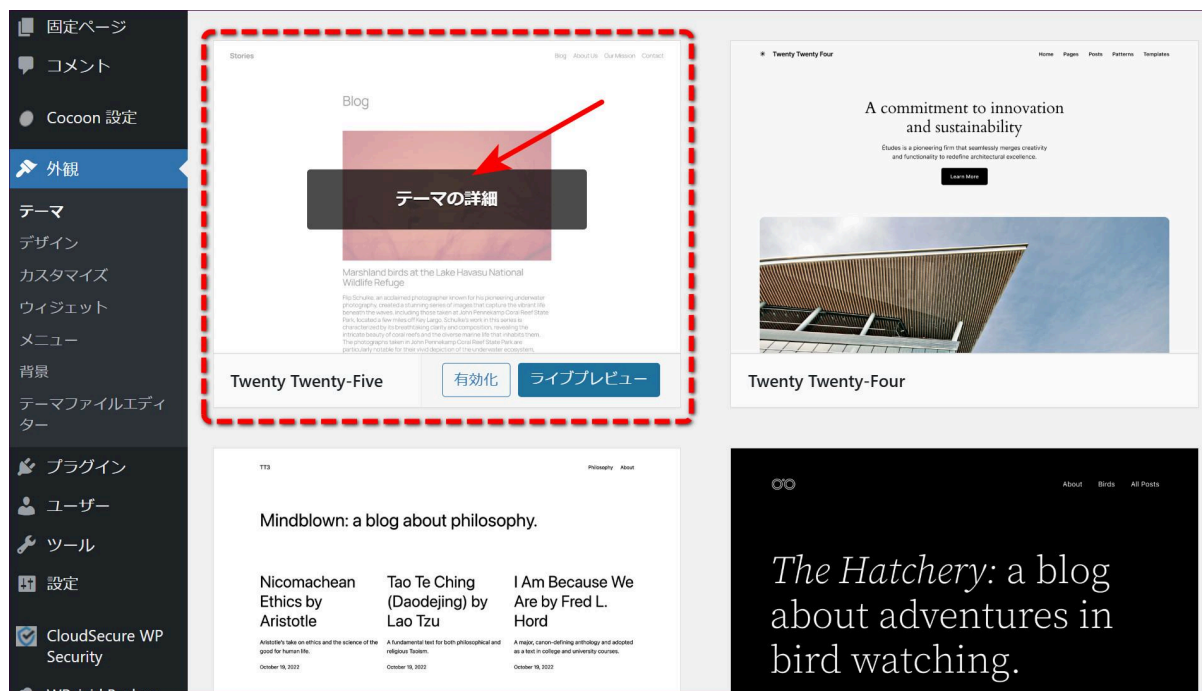
- ・公式テーマ（例：Twenty Twenty-系）はすべて削除する必要はありません。

不具合が出たときに一時的に切り替えられるように、1つだけ残しておくで安心です。

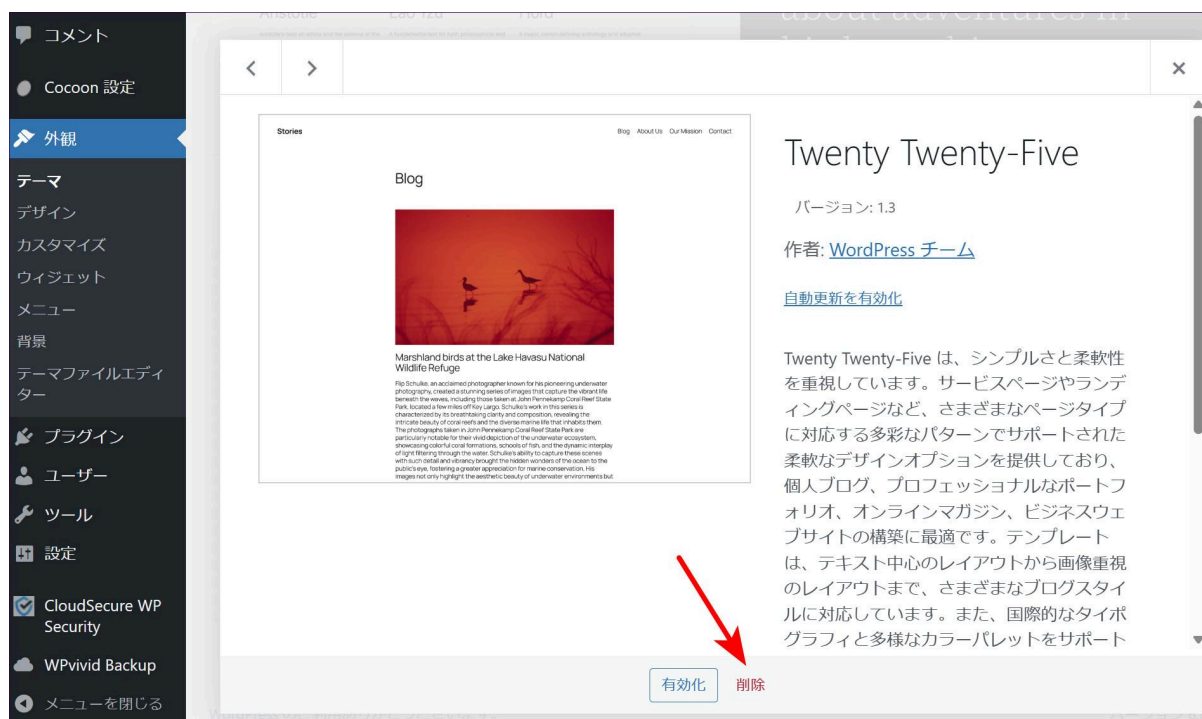
- ・現在有効化されているテーマ（Cocoonなど）は削除できません。

別のテーマを有効化してからでないと削除できない仕様になっています。

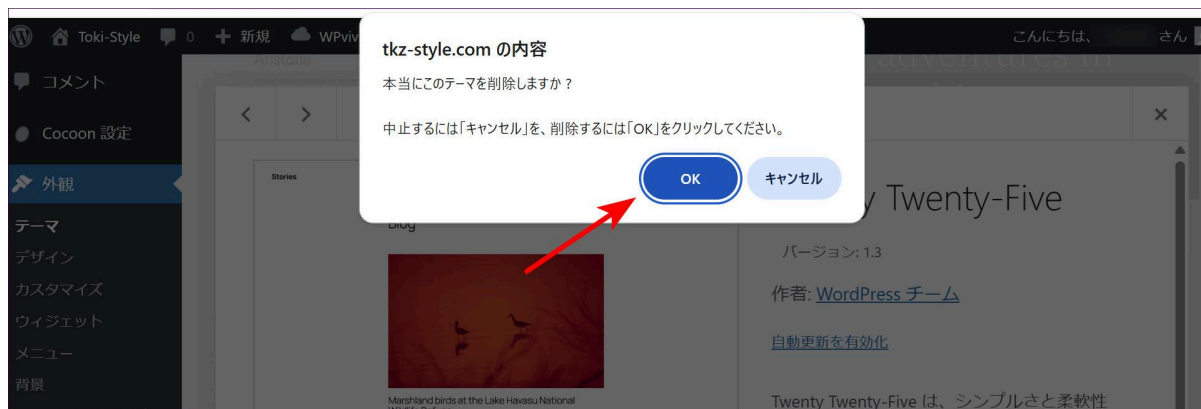
テーマを削除する手順



削除したいテーマにカーソルを合わせ、「テーマの詳細」をクリックします。

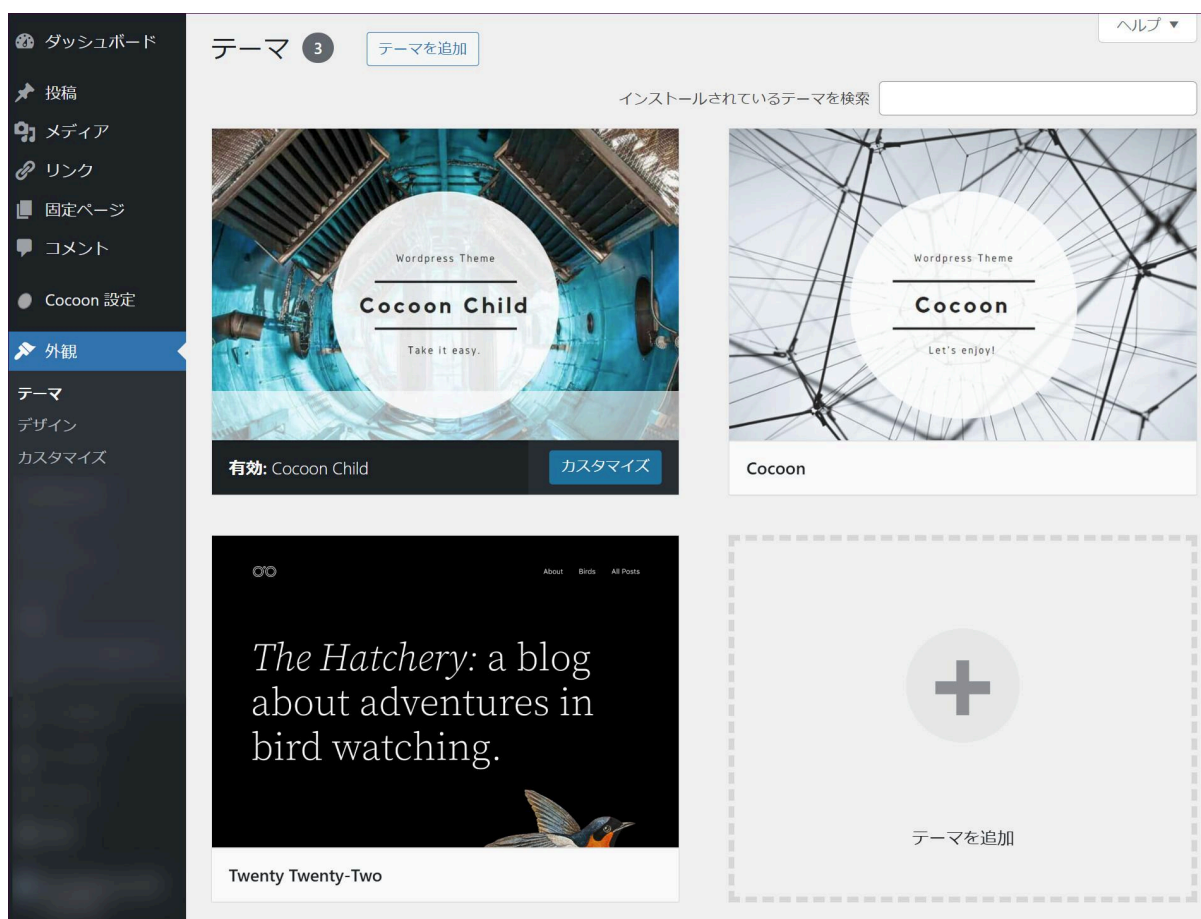


詳細画面が開いたら、右下にある「削除」ボタンをクリックします。



確認メッセージが表示されるので、削除してよければ「OK」をクリックします。

その後、テーマ一覧から対象のテーマが消えていれば削除完了です。



Cocoonの親テーマと子テーマ、それに公式テーマ（Twenty Twenty系）を1つ残し、その他のテーマは不要なので削除しておきましょう。（Cocoonは親テーマと子テーマの両方が必要です。子テーマを使うことで、デザインをカスタマイズしてもテーマ更新時に上書きされにくくなります。）

Cocoon設定

次に、「Cocoon設定」から、デザインのカスタマイズなど、サイトの見た目の調整を行います。WordPressのデザイン変更は通常「外観」メニューから行いますが、Cocoonには専用の「Cocoon設定」があり、ここからサイト全体に関わる重要なカスタマイズをまとめて行うことができます。

「外観」メニューよりも効率的でわかりやすいため、Cocoonを使う場合はまず「Cocoon設定」から始めるのがおすすめです。



画面左側メニュー「Cocoon設定」をクリックすると、設定画面が表示されます。まずはじめに、ブログの全体的なデザインを決める「スキン設定」を行っていきます。

スキン設定

スキン設定

スキンを変更することで、サイトのデザインを手軽に変更できます。

プレビュー




スキナー一覧


- ☒ なし
- ☐  [メイド・イン・ヘブン](#) [作者: [chu-ya](#)]
- ☐  [grayish](#) [作者: [Na2factory](#)]
- ☐  [SILK \(シルク\)](#) [作者: [ろこ](#)]
- ☐  [みるらいと](#) [作者: [みるみ](#)]
- ☐  [イノセンス](#) [作者: [おはようパテト](#)]
- ☐  [COLORS \(イエロー\)](#) [作者: [わいひら](#)]
- ☐  [COLORS \(グリーン\)](#) [作者: [わいひら](#)]
- ☐  [COLORS \(ピンク\)](#) [作者: [わいひら](#)]
- ☐  [COLORS \(ブラック\)](#) [作者: [わいひら](#)]
- ☐  [COLORS \(ブルー\)](#) [作者: [わいひら](#)]
- ☐  [COLORS \(レッド\)](#) [作者: [わいひら](#)]
- ☐  [Like Simplicity](#) [作者: [わいひら](#)]
- ☐  [てがきノート\(ブルーコーラル\)](#) [作者: [ゆうそうと](#)]


スキンとは、配色や装飾のテンプレート（ひな形）のようなもので、数クリックでサイト全体のデザインを切り替えることができます。Cocoonにはあらかじめ多くのスキンが用意されており、初心者でも簡単に自分の好みに合った見た目に変更できます。


スキン一覧


☒ なし


☐  [メイド・イン・ヘブン](#) [作者: chu-ya]


☐  [grayish](#) [作者: Na2factory]


☐  [SILK \(シルク\)](#) [作者: るこ]


☐  [みるらいと](#) [作者: みるみ]


☐  [イノセンス](#) [作者: おはようポテト]


☐  [COLORS \(イエロー\)](#) [作者: わいひら]


☐  [COLORS \(グリーン\)](#) [作者: わいひら]


☐  [COLORS \(ピンク\)](#) [作者: わいひら]


☐  [COLORS \(ブラック\)](#) [作者: わいひら]

☐  [COLORS \(ブルー\)](#) [作者: わいひら]

☐  [COLORS \(レッド\)](#) [作者: わいひら]

☐  [Like Simplicity](#) [作者: わいひら]

☐  [てがきノート\(ブルーコーラル\)](#) [作者: ゆうそうと]

☐  [てがきノート\(グリーンオレンジ\)](#) [作者: ゆうそうと]

Cocoonにはたくさんのスキンが用意されていますが、まずは作者のわいひらさん自身が作成した「COLORS」シリーズから選ぶのがおすすめです。信頼性が高く、Cocoon本体との相性も抜群です。

COLORSシリーズをおすすめする理由

・Cocoonの作者本人による制作

テーマ本体との整合性が取れていて安心。今後のアップデートでも不具合が起きにくい。

・シンプルで見やすい配色

文字の可読性やデザインのバランスがしっかり考えられており、初心者でも安心して使える。

・カラー展開が豊富

好みに合わせて色だけを選べるので、デザインに悩まず「色で決める」だけでブログをスタートできる。

スキナー一覧表示

☒ 全てのスキナーを表示する

☐ 親テーマのスキナーのみ表示する

☐ 子テーマのスキナーのみ表示する

① スキナー一覧に含めて表示するスキナーを選択してください。

オリジナルスキナー

もしスキナーを作成された際には、是非ご連絡ください。サイトで紹介させていただければと思います。
詳しくはこちら → [オリジナルスキナーのCocoonサイト紹介について](#)

変更をまとめて保存

最後にページ下部の「変更をまとめて保存」をクリックすれば設定完了です。

色のイメージと活用例

・イエロー

印象：明るく元気、親しみやすい

効果：読者にポジティブで活発な雰囲気を与える

向いているサイト：日記、子育て、趣味、旅行など、気軽に読んでもらいたい内容

・グリーン

印象：自然、安心、リラックス

効果：落ち着いた雰囲気を演出し、読み手に安心感を与える

向いているサイト：健康、生活、ガーデニング、教育など、
信頼性や安らぎを重視したい内容

・ピンク

印象：やさしい、親近感、かわいらしい

効果：やわらかい雰囲気をつくり、読み手に親近感を与える

向いているサイト：美容、ファッション、料理、ライフスタイルなど、
親しみやすさを出したい内容

・ブラック

印象：高級感、シック、力強さ

効果：文字や写真を際立たせ、落ち着いた雰囲気を与える

向いているサイト：写真作品、ビジネス、IT関連、レビュー記事など、
信頼性や重厚感を出したい内容

・ブルー

印象：知的、誠実、爽やか

効果：信頼感を高め、読みやすい雰囲気をつくる

向いているサイト：学習系、技術系、ビジネス、教育、マニュアル系記事など、
情報の正確さを伝えたい内容

・レッド

印象：情熱的、注目を集める、エネルギッシュ

効果：インパクトを与え、強いメッセージ性を持たせられる

向いているサイト：スポーツ、イベント告知、エンタメ、キャンペーンなど、
勢いを感じさせたい内容

PR表記の設定

サイトを収益化するために広告を掲載する場合、読者に対して「広告が含まれていること」を明示する必要があります。これは「PR表記」といわれる景品表示法に基づくルールで、広告なのに広告と伝えずに宣伝する行為（ステルスマーケティング）を防ぐためです。

Cocoonには、このPR表記を設定できる機能が用意されています。設定しておくで、自動的に広告掲載部分に表記を挿入できるため安心です。



The screenshot shows the Cocoon settings interface. At the top, there is a navigation bar with various tabs: スキン, 全体, ヘッダー, 広告, タイトル, SEO, OGP, アクセス解析・認証, カラム, インデックス, 投稿, 固定ページ, 本文, 目次, SNSシェア, SNSフ, ロー, 画像, ブログカード, コード, コメント, 通知, アピールエリア, おすすめカード, カルーセル, フッター, ボタン, モバイル, 404ページ, 管理者画面, ウィジェット, ウィジェットエリア, エディター, API, その他, リセット, テーマ情報. A red arrow points to the '広告' (Ads) tab. Below the navigation bar, the '広告設定' (Ad Settings) section is displayed. It includes a description: '広告全般に関する設定です。アドセンス設定や、ウィジェットの設定も含みます。' (Settings for all ads. Includes AdSense settings and widget settings). Under '広告の表示' (Ad Display), there is a checked checkbox for '全ての広告を表示する' (Display all ads) and a note: 'アドセンス設定、ウィジェット設定等、全ての広告の表示を切り替えます。' (Switches the display of all ads, including AdSense settings and widget settings). Under '広告ラベル' (Ad Label), there is a text input field containing 'スポンサーリンク' (Sponsor link) and a note: '広告上部ラベルに表示されるテキストの入力です。' (Input text for the label at the top of the ad).

PR表記の設定は、「Cocoon設定」の「広告」タブから行います。

PR表記設定

消費者庁の景品表示法の指定告示（通称：ステマ規制）に対応するための「PR表記」に関する設定です。 [🔗 解説ページ](#)

自動挿入ページ



☒ 全ての投稿ページ

① 全投稿ページで「自動挿入エリア」で設定した場所に「PR表記」を挿入します。



☒ 全ての固定ページ

① 全固定ページで「自動挿入エリア」で設定した場所に「PR表記」を挿入します。

☐ 全てのカテゴリーページ

① 全カテゴリーページで「自動挿入エリア」で設定した場所に「PR表記」を挿入します。

☐ 全てのタグページ

① 全タグページで「自動挿入エリア」で設定した場所に「PR表記」を挿入します。



画面を下にスクロールすると「PR表記設定」という項目があります。その中にある「自動挿入ページ」では、PR表記を自動で表示する対象のページを選ぶことができます。


ここで表示される「ページの種類」について、簡単に説明しておきます。

- ・ 投稿ページ … サイトに新しい情報や記事を追加するときに使うページです。
- ・ 固定ページ … 記事一覧に並ばない、「お問い合わせ」や「会社概要」のような固定されたページのことです。
- ・ カテゴリーページ／タグページ … 記事の一覧を表示するページのことです。


アフィリエイトなど、収益化を目的としてサイトを運営する場合は、「全ての投稿ページ」と「全ての固定ページ」にチェックを入れておくのがおすすめです。これで記事や固定ページに広告を載せたとき、自動でPR表記が入ります。


一方で、カテゴリーページやタグページは記事一覧のページなので、PR表記を入れる必要はありません。ここにはチェックを入れなくて大丈夫です。

自動挿入エリア  ☒ メインカラム左上（小）
 ⓘ メインカラムの左上に「PR表記」を表示します。 

☐ 本文の上（大）
 ⓘ 記事本文の上部に「PR表記」を挿入します。 

表示テキスト

テキスト（小）
 当サイトには広告を含むコンテンツがあります。
 ⓘ メインカラム左上に表示される「PR表記」の文言を入力してください。 

テキスト（大）
 記事内に広告が含まれています。
 ⓘ 記事本文上に表示される「PR表記」の文言を入力してください。 

「自動挿入エリア」は、「メインカラム左上（小）」を選び、「テキスト（小）」の入力欄には「当サイトには広告を含むコンテンツがあります。」と入力します。

広告除外カテゴリー

☐ 未分類

ⓘ 広告を非表示にするカテゴリーを選択してください。除外したカテゴリーに属する投稿ページもまとめて非表示になります。

変更をまとめて保存 

最後に、ページ下部の「変更をまとめて保存」をクリックすれば設定完了です。



先ほどの設定であれば、このように記事タイトルの上に小さく表示されるので、読みやすさを損ないません。

※参考情報

アフィリエイトを行ううえでのステルスマーケティング規制への対応については、以下のページが参考になります。

楽天アフィリエイト：ステルスマーケティング規制への対応について

https://affiliate.rakuten.co.jp/guideline/stealth_marketing_regulation/

A8.net：PR表記・URL申請に関するご案内

<https://www.a8.net/compliance/prNotation-urlSubmission.php>

タイトルの設定



スキーン 全体 ヘッダー 広告 タイトル SEO OGP アクセス解析・認証 カラム インデックス 投稿 固定ページ

本文 目次 SNSシェア SNSフォロー 画像 ブログカード コード コメント 通知 アピールエリア おすすめカード

カルーセル フッター ボタン モバイル 404ページ 管理者画面 ウィジェット ウィジェットエリア エディター API

その他 リセット テーマ情報

フロントページ設定

フロントページの、タイトル、メタディスクリプション、メタキーワードの設定です。

プレビュー

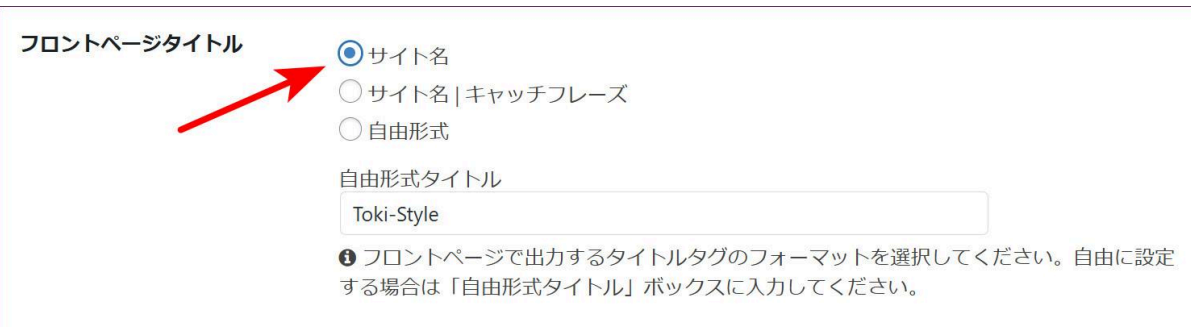
Toki-Style|日々の気づきや学びを記録しながら、暮らしに役立つ小さなヒントを紹介していきます。

<https://tkz-style.com>

❗ プレビューはあくまで目安です。表示は検索エンジンによって変更される可能性があります。

次に、「タイトル」の設定を行います。ここでいうタイトルとは、画面上に表示されるブログタイトルや、記事ページの上に表示される大きな見出しではなく、検索結果やブラウザのタブ、SNSでシェアされたときに表示されるページタイトルのことです。

このタイトルを適切に設定しておくことで、検索結果での見栄えが良くなり、読者にも内容が伝わりやすくなります。



フロントページタイトル

☒ サイト名

☐ サイト名 | キャッチフレーズ

☐ 自由形式

自由形式タイトル

Toki-Style

❗ フロントページで出力するタイトルタグのフォーマットを選択してください。自由に設定する場合は「自由形式タイトル」ボックスに入力してください。

「フロントページタイトル」は「サイト名」を選択します。

初期設定では「サイト名 | キャッチフレーズ」となっていますが、そのままにしておくと検索結果やブラウザのタブで不自然に長くなり、見た目がすっきりしません。「サイト名」だけにしておくとシンプルで、検索結果でも読みやすくなります。

投稿・固定ページタイトル

☒ ページタイトル

☐ ページタイトル|サイト名

☐ サイト名|ページタイトル

📌 投稿・固定ページで出力するタイトルタグのフォーマットを選択してください。

「投稿・固定ページタイトル」は「ページタイトル」を選択します。

記事ページや固定ページで、記事タイトルのみが表示されるため、検索結果やSNSでシェアされたときに内容がすぐに伝わります。初期設定の「ページタイトル|サイト名」のままだと長くなり、検索結果で途中で切れてしまうことがあるので、特にこだわりが無ければ、シンプルにページタイトルだけにしておくのがおすすめです。

セパレーター

☒ | (パイプ)

☐ - (ハイフン)

📌 タイトルの区切りとなる文字を設定してください。

変更をまとめて保存

最後に、ページ下部の「変更をまとめて保存」をクリックすれば設定完了です。

ウィジェットの設定



WordPressには「ウィジェット」という仕組みがあり、サイトのサイドバーやフッターなど、決まった場所に機能や情報を追加できます。エックスサーバーの簡単インストール機能で作成した場合、デフォルトの状態で「検索」「最近の投稿」「最近のコメント」「アーカイブ」「カテゴリー」がサイドバーに入っています。

ただし、これらのウィジェットはそのまま使わず、一度すべて外して自分で設定し直すのがおすすめです。



画面左側メニュー「外観」→「ウィジェット」をクリックすると、ウィジェットの設定画面が開きます。



ウィジェットの設定画面が開いたら、「サイドバースクロール追従」の右側の「▼」アイコンをクリックします。

アクセシビリティモードを有効にするヘルプ

ウィジェット

ライブプレビューで管理

利用できるウィジェット

ウィジェットを有効化するにはサイドバーにドラッグするかクリックしてください。ウィジェットを無効化し設定を削除したい場合は、ドラッグして右側に戻してください。

RSS

任意の RSS/Atom フィードからのエントリー。

[C] CTA

コール・トゥ・アクションで訪問者にとってもらいたい行動を促すウィジェットです。

[C] Facebookボックス

「この記事が気に入ったらフォローしよう」ウィジェットです。

[C] SNSフォローボタン

サイドバー

サイドバーのウィジェットエリアです。ウィジェットを入れていない場合は1カラム表示になります。

ブロック

ブロック

ブロック

サイドバースクロール追従

サイドバーで下にスクロールすると追いかけてくるエリアです。

ブロック

ブロック

合計で5つ、「ブロック」と書かれたウィジェットが設定されていますが、これらをすべて外して、新たに設定し直します。

アクセシビリティモードを有効にするヘルプ

ウィジェット

ライブプレビューで管理

利用できるウィジェット

ウィジェットを有効化するにはサイドバーにドラッグするかクリックしてください。ウィジェットを無効化し設定を削除したい場合は、ドラッグして右側に戻してください。

RSS

任意の RSS/Atom フィードからのエントリー。

[C] CTA

コール・トゥ・アクションで訪問者にとってもらいたい行動を促すウィジェットです。

[C] Facebookボックス

「この記事が気に入ったらフォローしよう」ウィジェットです。

[C] SNSフォローボタン

サイドバー

サイドバーのウィジェットエリアです。ウィジェットを入れていない場合は1カラム表示になります。

ブロック

ブロック

サイドバースクロール追従

サイドバーで下にスクロールすると追いかけてくるエリアです。

ブロック

ブロック

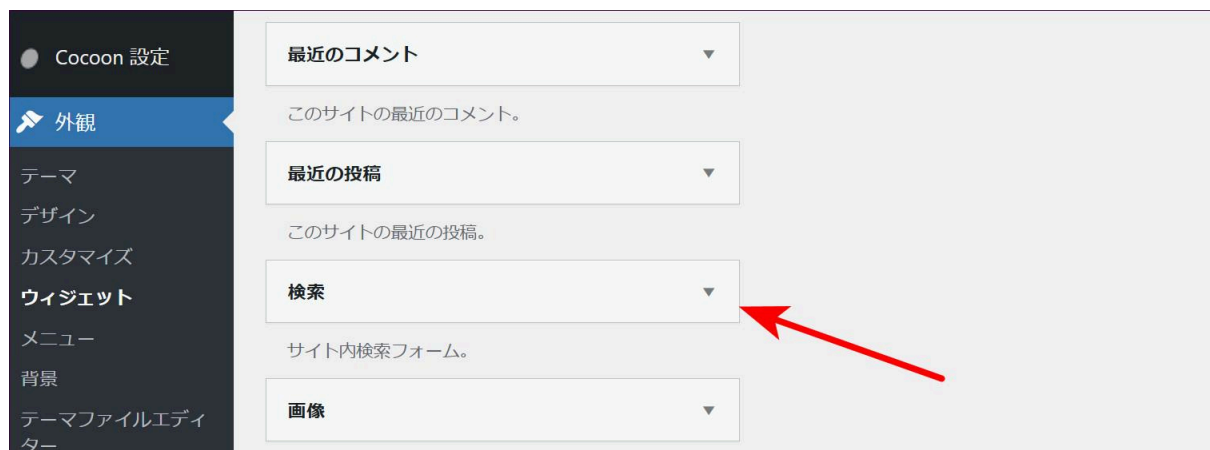
ブロック

ドラッグ&ドロップで外に外す

ウィジェットは、ドラッグ&ドロップで外に外すことで削除することができます。



いったん、サイドバーに入っているウィジェットをすべて削除し、何もない状態にしてしましましょう。



最初に入っていたウィジェットをすべて削除したら、必要に応じて自分が使いたいウィジェットを新たに設定します。今回は、「検索」「最近の投稿」「カテゴリー」「アーカイブ」を設定します。

画面を下にスクロールさせて、「検索」の「▼」アイコンをクリックします。

検索

▲

サイト内検索フォーム。

✓ サイドバー

▲

▼

サイドバースクロール追従

メインカラムスクロール追従

投稿タイトル上

投稿タイトル下

投稿本文上

投稿本文中

投稿本文下

キャンセル

ウィジェットを追加

「サイドバー」にチェックを入れて、「ウィジェットを追加」をクリックします。

利用できるウィジェット

ウィジェットを有効化するにはサイドバーにドラッグするかクリックしてください。ウィジェットを無効化し設定を削除したい場合は、ドラッグして右側に戻してください。

RSS

▼

任意の RSS/Atom フィードからのエントリー。

[C] CTA

▼

コール・トゥ・アクションで訪問者にとってもらいたい行動を促すウィジェットです。

[C] Facebookボックス

▼

「この記事が気に入ったらフォローしよう」ウィジェットです。

[C] SNSフォローボタン

▼

サイドバー

▲

サイドバーのウィジェットエリアです。ウィジェットを入れていない場合は1カラム表示になります。

検索

▲

タイトル:

表示設定

削除

完了

保存しました

サイドバースクロール追従

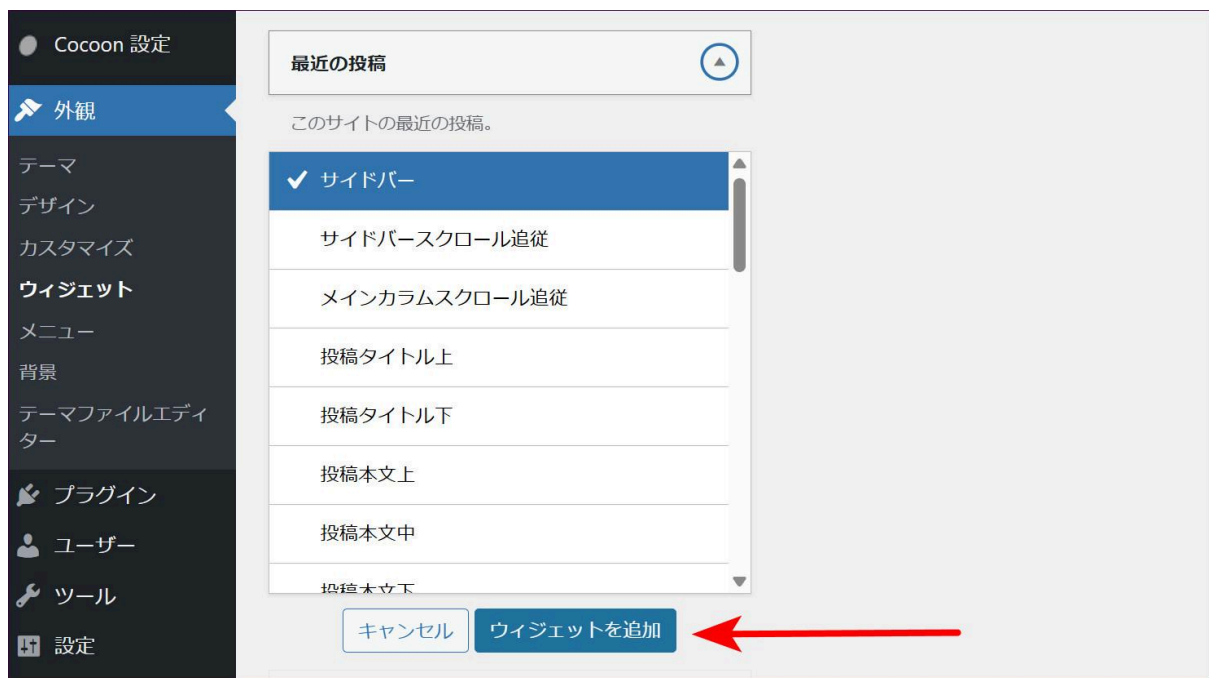
▲

サイドバーで下にスクロールすると追いかけてくるエリアです。

サイドバーに「検索」が追加されました。



実際の画面上では、このように表示されます。



同じ要領で、「最近の投稿」も追加してみましょう。



サイドバーに「最近の投稿」が追加されました。



実際の画面上では、このように表示されます。

日々の気づきや学びを記録しながら、暮らしに役立つ小さなヒントを紹介していきます。

Toki-Style

未分類

NO IMAGE

Hello world!

WordPress へようこそ。こちらは最初の投稿です。編集または削除し、コンテンツ作成を始めてください。

📊 本日: 0 週: 0 月: 0 全体: 0

© 2025.09.01

サイト内を検索



最近の投稿

Hello world!

カテゴリー

▶ 未分類

アーカイブ

2025年9月

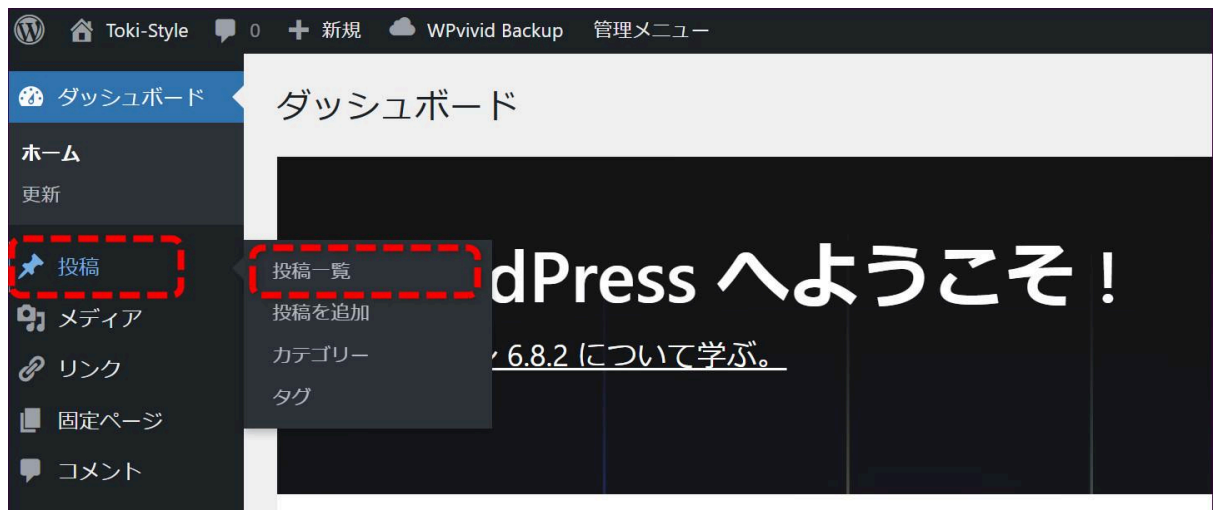
サイトを作り始めた段階では、「検索」「最近の投稿」「カテゴリー」「アーカイブ」を設定しておけば十分です。（いつ作成された記事なのかを知らせる必要がなければ、アーカイブは使わなくても問題ありません。）もしコメント機能を開放する場合は、「最近のコメント」を追加すると、読者がやりとりの流れを把握しやすくなります。

一方で、「メタ情報」のようなウィジェットは不要です。WordPressの管理画面へのログインリンクなどが表示されますが、読者にとって意味がなく、かえって混乱を招く可能性がありますので追加しないようにしましょう。

「Hello World!」を削除する



WordPressをインストールすると、最初からサンプル記事として「Hello World!」という投稿が入っています。これは動作確認用のダミー記事なので、実際にサイトを運営するうえでは不要です。公開したままにしておくと、読者から「なんだろう?」と違和感を持たれる可能性もあるため、最初に削除しておきましょう。



画面左側メニューから「投稿」→「投稿一覧」をクリックします。



「投稿一覧」ページを開くと、デフォルトの状態では表示が崩れてしまう場合があります。Cocoonを利用していると、タイトルが縦に並んでしまうなど、見づらい表示になることがあるのです。

表示崩れを修正するには、「投稿一覧」ページ右上にある「表示オプション」をクリックします。

カラム

☒ 投稿者 ☒ カテゴリー ☒ タグ ☒ コメント ☒ 日付 ☒ ID ☒ 文字数 ☒ PV ☒ アイキャッチ

ページネーション

ページごとに表示する項目数:

表示モード

☒ コンパクト表示 ☐ 拡張表示

適用

投稿

表示オプション ▲

すべて (1) | 公開済み (1)

パネル内の「カラム」にチェックがたくさん入っている場合、そのままだと横幅が足りず、タイトルが縦に崩れて表示されてしまいます。

カラム

☐ 投稿者 ☒ カテゴリー ☒ タグ ☐ コメント ☒ 日付 ☒ ID ☒ 文字数 ☒ PV ☐ アイキャッチ

ページネーション

ページごとに表示する項目数:

表示モード

☒ コンパクト表示 ☐ 拡張表示

適用

投稿

表示オプション ▲

すべて (1) | 公開済み (1)

一括操作 ▼

すべての日付 ▼

カテゴリー一覧 ▼

▼

すべてのユーザー ▼

1個の項目

<input type="checkbox"/> タイトル	カテゴリー	タグ	日付	ID	文字数	PV
<input type="checkbox"/> Hello world!	未分類	—	公開済み 2025年9月1日 4:31 PM	1	題 : 12 本文 : 55	日 : 0 週 : 0 月 : 0 全 : 0
<input type="checkbox"/> タイトル	カテゴリー	タグ	日付	ID	文字数	PV

不要な項目のチェックを外して、必要最低限の項目だけ残すようにしましょう。たとえば、「投稿者」「コメント」「アイキャッチ」は、表示されなくても特に支障はないので、チェックを外してしまってもかまいません。設定が終わったら、「表示オプション」を再度クリックしてパネルを閉じます。

投稿 [投稿を追加](#) 表示オプション ▼ ヘルプ ▼

すべて (1) | 公開済み (1) [投稿を検索](#)

一括操作 ▼ 適用 すべての日付 ▼ カテゴリー一覧 ▼ ▼ すべてのユーザー ▼ 絞り込み 1個の項目

<input type="checkbox"/>	タイトル ▼	カテゴリー	タグ	日付 ▼	ID ▼	文字数	PV
<input type="checkbox"/>	Hello world! 編集 クイック編集 ゴミ箱へ移動 表示	未分類	—	公開済み 2025年9月1日 4:31 PM	1	題：12 本文：55	日：0 週：0 月：0 全：0
<input type="checkbox"/>	タイトル ▼	カテゴリー	タグ	日付 ▼	ID ▼	文字数	PV

一括操作 ▼ 適用 1個の項目

投稿一覧の中にある「Hello World!」のタイトル部分にマウスカーソルを合わせます。すると、「編集」「クイック編集」「ゴミ箱へ移動」などのリンクが表示されます。

その中から「ゴミ箱へ移動」をクリックします。

投稿 [投稿を追加](#) 表示オプション ▼ ヘルプ ▼

1件の投稿をゴミ箱へ移動しました。 [元に戻す](#) ✕

すべて (0) | ゴミ箱 (1)

カテゴリー一覧 ▼ ▼ すべてのユーザー ▼ 絞り込み

<input type="checkbox"/>	タイトル ▼	カテゴリー	タグ	日付 ▼	ID ▼	文字数	PV
投稿が見つかりませんでした。							
<input type="checkbox"/>	タイトル ▼	カテゴリー	タグ	日付 ▼	ID ▼	文字数	PV

これで「Hello World!」の記事が削除され、ゴミ箱に移動されます。

もし完全に削除したい場合は、画面上部にある「ゴミ箱」タブを開いて、さらに「完全に削除」を選べばOKです。

WordPressの仕様として、ゴミ箱に移動した投稿や固定ページは30日間保持されます。30日を過ぎると、自動的に完全削除（復元不可）になります。

おわりに

ここまで、WordPressを始めるうえで最低限必要な初期設定を順を追って解説してきました。

最初は操作や専門用語に戸惑うかもしれませんが、ひとつひとつ手順を確認しながら進めれば、確実に整えることができます。

設定を済ませておくことで、セキュリティ面でも安心でき、また記事を書き始めたあとに余計なトラブルに悩まされることも減ります。

安心してサイトを作っていける環境が、ひとまず形になりました。

引き続き、WordPressを活用しながら、ご自身のサイトを育てていきましょう。